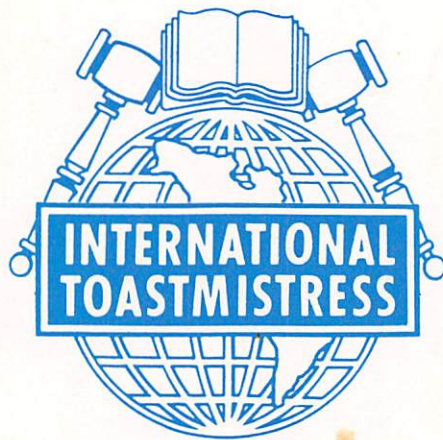


VOLUME 1 No. 4 JUNE 1983

JAPAN REGION



International Toastmistress Clubs

目 次

会長のデスクより	1
役員インタビュー	2
日本リージョン第1回年次大会	5
スピーチコンテスト	8
カウンスルだより	12
この1年 責任への挑戦	14
I T C マガジンより	
トーストミストレス翻訳事情	21
役員会について	22
資料委員会より	25
編 集 後 記	25

会長のデスクより

I T C日本リージョン

会長 新木 昌子

第1回リージョン年次大会は会員の参加と協力により、議事、教育、スピーチコンテスト、役員交替式等が滞りなく行われ全て成功裡に終わりました。また旧友との再会、新しい友との出会いを楽しむことができました。

初めて日本を訪問されたI T C副会長デビジョンVI ミセス・リン・キャバヒルは会員の暖かい心と日本の文化にふれ良き日本の理解者としてニュージーランドに帰国されました。

リージョンの第1回大会がこのようにすばらしい成果をあげましたのは、ひとえに会員の皆様のご協力があったからこそで役員一同に代わりまして心から御礼申し上げます。

今期もあと残り少なくなり、クラブもカウンスルも1年の最後を飾る役員交替式を行う時期になりました。ここで年度始めに計画した目標がどれ程達成できたかを評価するのに丁度良い機会です。そして個人及び団体として次の活動コースの目標を立てる時ではないかと思えます。

日本リージョンは昨年正式に発足してから今年のテーマである「責任への挑戦」にそい3つの活動目標を発表しました。

第1は「増設活動を活発にすること」です。これについてはまず今期初めに栄クラブと北大阪クラブが設立され現在、東京、筑波、奈良、広島、西宮等で各カウンスルの増設委員の惜しみない助力により着々と新クラブ設立が進んでいます。

第2の「翻訳資料を充実すること」は、リージョン会報に毎回I T Cマガジンから3～4編の記事を訳し会員の教育資料として掲載するほか17部の教育特集の翻訳印刷が完成しました。又期末までにはオリエンテーションマニュアルも出来る予定です。

第3の「ディスカバー ニュー プログラム」は各レベルの例会でそれぞれ教育的で会員の進歩に有意義なプログラムが生まれその水準を高める努力が現れています。

3つの目標のほかカウンスルマネージメントトレーニングを2回にわたり行い、リージョン公式訪問各役員はカウンスル例会の教育訓練プログラムに参加し諸問題の解決に助力をしたり各レベルの意見をI T C本部に提出しました。

このようにリージョンの1年目は、その活動目標に向かって前進し基礎づくりに力を入れて来ました。増設も翻訳も会員のたゆまない努力により行われています。

しかしこれからの増設は地理的配置を考え組織だてた計画を基に新設する必要があると考えます。そして翻訳は将来リージョンが、専門的に翻訳をするスタッフを雇用する事を長期目標にするよう期待します。いずれにしてもこの2つの活動は会員の助力と献身に頼る事になりますが、その一方会員自身も自己啓発の機会と経験を得る喜びがあることを高く評価できると思えます。

この1年間リージョン会長として勤めさせて頂き心から感謝いたします。日本のトーストミストレスクラブが社会に広く認められる有力な団体になります事を念願いたします。

役員インタビュー



江藤：リージョン最初の1年をふりかえって、皆様方の経験、感想、将来のトーストミストレスへの期待、抱負などをおきかせ下さい。

ジョイス：プログラムの責任をもった第1副会長として務めたのは、私にとってチャレンジングで、エキサイティングで、とてもやりがいがありました。たくさんの時間と労力、それにクラブ会員の協力も必要でした。でも、つかった時間の価値は、ありました。

菊池：リージョンをどういうふうに参加してどういうふうに参加して運営していくかということが、ひとつひとつが勉強だったと思うから、これがまず第1歩で、2年3年4年とたったらちゃんとした日本のリージョンの運営の仕方ってことが基礎だっていくんじゃないかと思います。

盛田：カウンスルを私達がつくり始めた時と同じような感じをうけますの。ということは、カウンスルがそうだったようにクラブの皆様がリージョンを敬遠していらっしゃるというか、めんどくさいもの難しいものと思われてなかなか理解して頂けない。カウンスルの時の悩みといっしょです。来年はどういうふうに参加に話しかけるかということを考えてやらなければならないと思います。

高柳：会計をしてきました。仕事としては、むしろクラブの会計のほうがずっと難しい。しかしやはり会計のお仕事だけしてれば良いものではない。役員の人として責任が

出席者	第1副会長	ジーン・ジョイス
	第2副会長	菊池悦子
	書記	盛田純子
	会計	高柳恭子
	議会法規役員	八代ふゆ子
	資料	白木保子
	編集	江藤万里子 (インタビュアー)

あるのではないかと考えています。カウンスルがわかりかけてきたところで又リージョンということで、リージョンアレルギーをおこしていらっしゃることをきいてますけれど、実際にこうして動き出していますし、日本の会員の底力とインテリジェンスというものを感じて頼もしく思ってます。

八代：パラメンタリアンは選出役員とちがって責任感の度合いというものが軽くなって申し訳ありません(笑)。会長の相談にのったり、クラブからの質問に答えたり、カウンスルにリーダーとして派遣されたりしました。一番困ったことは、議事法というものが非常に難しいものなんです。大体私達主婦は素人ですから、そういうことに精通する筈がないわけで、どうやって素人が解答を出してゆくか、誰にきいたらこれがわかるかしらってということが、今の私の困っていることです。

ジョイス：まだまだ勉強していないことは勉強になることです。そしてリージョンということは私達は普通の会員です。リージョンは会員の為に働きます。そして各クラブの仕事をしやすくします。出来ない出来ないと思っても、チャレンジを持っていけばやっぱり主婦でも出来ます(笑)。だから日本ではタレントがほんとに多いんです。道がなかったからその道を今ひらいて、新しい道を歩いているような感じです。今後は手をつないで歩こうと思っています。

江藤：リージョンとは何か、というふうなことをこの会報を通じて言って頂いたらいいのではないかと思うのです。というのは年1回の大会の為のみに仕事をしているとおっしゃられる方も会員のなかには大分いらっしゃる。

高柳：リージョン役員会というものがリージョンを代表しているわけでしょうか？ 会員達にとってどういうものであるかということじゃないでしょうか。

盛田：ボードだけじゃなくて委員会のことでもいいわけでしょう。例えば翻訳委員会などのお陰で17種類も翻訳が出来て、実際に皆さんに役立っているし、資料委員会が今年は整備されて、皆さんの手許にエデュケーションフィーチャーが今期17冊も出来たということは、リージョンの大きな成果だと思います。

江藤：では次に、クラブとカウンスルとリージョンのコミュニケーションですね。リージョンデリゲートは大会のためにあるので、各クラブでリージョンの事を話したりいたしませんでしょう。そういうコミュニケーション、クラブ側ではリージョンに対するいろいろな意見を、どこへどう打ち返したらいいのかということ一経路が問題になるのです。大会のためだけのデリゲートでなく、間はどうなっているのか。リージョンから直接クラブへ送られることになっていますね。カウンスルを通さないで。そのコミュニケーションをうまくするのにこれからどうしたらよいのでしょうか。

盛田：理想としては各個人の方がお手紙下さったらいいんだけど。なかなかそうはいかなくて。クラブの代表の方とあう会合を持ったらどうかなあと思うんですよね。やはりこちらから働きかけて、1回でいいから。クラブとリージョンは直接むすびついてい

るわけでしょう。それをしなくちゃいけないんじゃないかしら。

八代：リージョン大会の中にそういう時間を持つといいのではないか。各クラブの会長あるいは代表者と話の出来る場を。

そのひとつの重要な役割をするのが、カウンスル役員研修会だと思うのです。研修会とは、べつに一方的に講義するものじゃなくて、むしろ各役員との懇談会的であったほうがよいと思っていることや、こうして欲しいと思っていることをその通り出して頂く。それが研修会の大きなねらいだと思うのです。

ジョイス：3つのカウンスルを訪問していろんなクラブと、そこのニーズや能力がわかりました。カウンスルが3つに分かれてまだ2年目なのに、それぞれのカウンスルがとても発展していて私は強い印象をうけました。エデュケーションやプログラムの内容は素晴らしく、良いプログラムは良いメンバーをつくるということ、出席率の高さが物語っています。カウンスル役員の方々の立派なリーダーシップをとともほめたいのです。

菊池：私がありがたかったと思うのは、9月にした会員委員長研修会で、ともかく会員委員長というものは、継続会員をドロップしないようにすること、フルメンバーでないクラブはなるだけフルメンバーにするよう心がけて頂きたいということを行いました。No.2とNo.3がほとんどフルメンバーに近くなってきたのは、各クラブの会員委員長が努力なさったんじゃないかという感じがするの。

ジョイス：リージョンは、会員がどうしてやめるかということも検討したほうがよい。やめる理由、カウンスルではなくリージョンできくほうがよいでしょう。どうしてこの辺

の人だけやめるのか、お金の問題か、時間の問題か。

高柳：リージョンは、日本の全体のクラブのいろいろな事情をつかんで、問題があれば原因をさぐってそれを解決する方法を役員会で研究したり検討したり善処したり。大きな頂点に立ってそういう処からお世話をするのがリージョンの役員会のひとつの仕事にもなるでしょう。

八代：どんどんいろんな手紙が各クラブから来てもいいわけよ。

菊池：報告書のことだけれども、今リージョンは年4回報告を受けなければいけないことになっているでしょう。皆さんにとってすごくそれが負担なんですか？

高柳：No1から来ましたよね。もっと簡単にしたいって。

菊池：その、運営を簡素にして欲しいって声ですけどね、ジョイスさん。それは組織だからITCで決められているんでしょうか。すべてにおいて4回はしなくてはならないって。

ジョイス：それもリージョンの仕事のひとつになるでしょう。どういうふうに変更しようとか、みんなが出来るようにしやすい方法を考えて、リージョンが一応見本をつくって。

盛田：だぶった報告が来るでしょう。

菊池：そうです。カウンスルの増設委員長→私→リージョン会長。同じことが、カウンスル増設委員長→カウンスル会長→リージョン会長と、内容はひとつも変わらないことがある。

江藤：それはたしかに今後の大きな課題ですね。来期に期待致しましょう。

白木：おそくなってすみません。リージョン資料委員会としては今期がはじめてですので、クラブが資料のことをほとんどご存知なかったのです。それでカウンスルNo1の例会の時には全部展示しました。No2、No3のほうへは1度もお伺い出来なくて申し訳なかったので

すけれども。ただ、展示だけでは一般の方、特に新入会員の方には全然わからない。それをわかって頂くにはどうしたらいいかなと考えているんですけど。

江藤：No3では、ライブラリーをつくり全部揃えています。No3には新しいクラブが多いので、どういう資料ですかとお問い合わせがあり、実物を見たうえで買い求めているんじゃないです。

白木 今期は翻訳委員会のお陰でずい分と教育特集が出来ました。これを参考書としてご利用になるとやりやすいですよ、ということを知って頂くにはどうしたらよいんでしょうか。今後役員の皆様で考えて頂きたいところです。

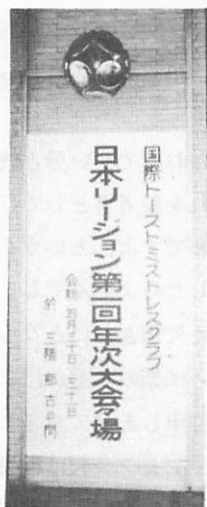
江藤：資料委員会の方から来期のお話が出ましたので、編集からも一寸申しあげておきたいことがあるのです。リージョン会報は編集部がつくっているのではなく、こちらが出す企画を会長は承認して、役員会ではかられて決まるものなのです。こちらから申し上げなくても、来期は役員会、委員会の方から、次はこれを載せてほしい、その次はこれ、というように、活動状況を会員の皆様に知って頂く手段として、より有効に会報を御利用下さればと思うのです。そうすればコミュニケーションももっと深まり、会員の皆様の理解もより多く得られ、トーストミストレスクラブとしてのユニティーが出来ると思うのです。今日は皆様お忙しいところ有難うございました。

1983年5月9日名古屋に於いてインタビューしたものを、後日編集したものです。

編集部

日本リージョン第1回年次大会

1983年5月30日・31日
於 名古屋観光ホテル



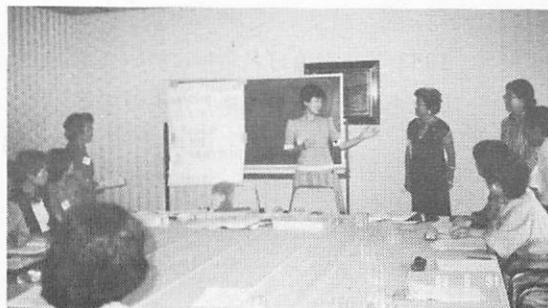
リージョン大会



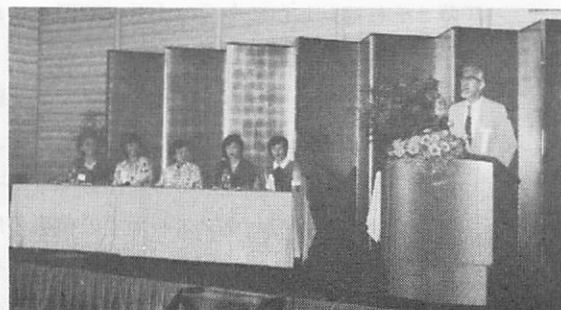
常任委員長



役員



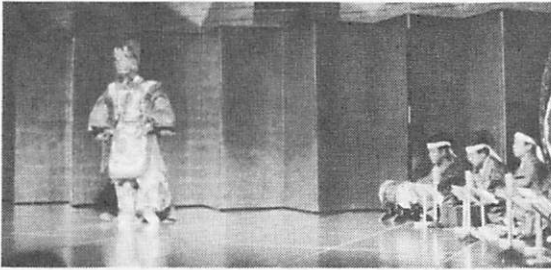
ワークショップ



スピーチコンテスト総評



Unity 1982-1983



熱田神宮舞楽



バンクエット



リン・キャバヒル様 6月2日西宮市「播半」にて

クロージングソウト リン・キャバヒル

May the road rise to meet you,
 May the wind be always at your back.
 May the sun shine warm upon your face,
 The rains fall soft upon your fields.
 And until we meet again may God
 Hold you in the palm of His hand.

IRISH BLESSING.

あなたにお逢いできる道がおとずれますように
 いつも追い風があなたの背中をなで
 太陽はあなたの顔をあたたかく照らし
 あなたのまわりはやさしく降る雨で潤され
 またお逢いできる日まで神様の御手の中
 おまもりがありますように

アイルランドの祈り より
 バーク良子(神戸)訳

リージョン大会ビジネス

○会則・常規の修正案は可決された。

○次期役員が選出された。

日本リージョン次期選出役員

会 長 ジーン・ジョイス (阪神)

第1副会長 菊池 悦子 (阪 神)

第2副会長 盛田 純子 (名古屋)

書 記 広瀬 忠子 (阪 神)

会 計 八代ふゆ子 (名古屋)

次期会長テーマ “創造と進歩”

President: Jean Joyce (Hanshin)
First Vice President: Etsuko Kikuchi (Hanshin)
Second Vice President: Junko Morita (Nagoya)
Secretary: Tadako Hirose (Hanshin)
Treasurer: Fuyuko Yashiro (Nagoya)

President's Theme: Creative Progress

リージョン大会あれこれ

1. 他カウンスルのメンバーの方々と逢え、新しい友情ができました。
2. 視野が広がった。もっと積極的に参加したい。
3. 昼間働いて夜例会を開いているメンバーにゴージャスな大会は苦痛です。
4. もっとお祭りに徹底したら?
5. キャバヒル様から、「プログラムを見て安心した。日本リージョンは大丈夫だ」と言われました。
6. ワークショップは素晴らしかった。
7. スピーチコンテストのジャッジの方法に更に考慮が必要と思う。
8. ワークショップは自由参加なのでしょうか。ワークショップをしている側でロングや和服でドレスアップした方がぞろぞろ歩かれ気が散りました。
9. 充実した2日間でした。
10. 時間的に窮屈でした。午後のお茶の時間が欲しかった。

11. 昼食はもうひとつでした。

12. 晩餐会で8時までおあずけというのは、きついでしたが、お料理は美味でした。

13. ホテルの気くばりはゆきとどいていました。

リン・キャバヒル様発言のなかより

——手続きのミスで来日がすっかり遅れてしまいとても残念です。でも皆様と接して、日本のトーストミストレスクラブの情熱を感じ、これは世界のトーストミストレスクラブに共通する雰囲気なので、はじめての来日にもかかわらず、私は非常にアットホームな気がしています。

——トーストミストレスクラブの各レベルの活動が忙しすぎ、有能な会員が役職につくのをしりごみしてしまう傾向があるのは残念なことです。簡素化してゆく努力、フリルの部分を切りすてていく努力があってもよいのではないのでしょうか。私の所属するクラブでは有職婦人がほとんどですが、月2回の例会のプログラムに表紙は付けませんし、ケーキやクッキーも出しません。役員会も年4回ぐらいしか開いていません。でも委員会はよく会合を持ち活発に動いています。

——私の抱負はITCにもっと国際性をもたせること。昨年ノーマ・ユウウィンがアメリカ外の国からはじめて会長になったことでもわかるようにデビジョンⅦの成長にはめざましいものがあります。私は日本のトーストミストレスクラブの発展に大きな期待を寄せているのです。

——滞日中のスケジュール

5月31日 到着・大会出席

6月1日～4日 京阪神地区滞在

カウンスルNo. 2. No. 3有志会員と懇親

6月5日 東京

6月6日 離日

論 題 国際人とは

題 目 「物」とのみでなく「人」と

カウンスルNo.2 阪神クラブ 秋 沢 珪 子

国際、この言葉を私達は新聞で雑誌で看板でテレビで、あらゆる所で目にします。国際会議や国際見本市も、ほとんど毎日のように日本のどこかで開催されています。我が国は表面的には急速に国際化されてきましたが、内容的には世界で通じる人物はまだ充分おられるとは云えません。

ほとんどの日本人にとって国際人という言葉を目にすると、国際的に有名な大使や学者や音楽家等が思い浮かびます。それらの人達からは、近代的な雰囲気、洗練されたマナー、流暢な語学力のある人、といった印象を受け私達の模範とする方々です。しかし、この様な重要人物のみが国際人なのでしょうか。

一方、国際人という言葉は時々誤用されます。ここでちょっと宣伝文句を見てみましょう。“今すぐチャージカードを作ってあなたも国際人になりましょう”とか、“国際人になりたければ解るコーヒー……”とか、全くナンセンスなのは “世界の有名な都市を1週間で10ヶ所訪ねましょう。国際人のあなたなら可能な事です”この旅行社の人々は人間とジェット機をごちゃ混ぜにしているのではないのでしょうか。

世間には衣服やアクセサリーをすべて世界有名ブランド商品で揃える方々もおられます。ある婦人はドレスはパリのディオール、靴はイタリアのグッチ、ハンドバッグはオーストラリアのグロメッシュ、指輪やネックレスはニューヨークのティファニーで着飾ってデパートの舶来特選売場に出かけ来シーズン用の最新流行品を買われます。彼女は国際人でしょうか。勿論、今日の聴衆の方々の中にはイエスとおっしゃる方は皆無と思いますが、実際、日本人の中には国際人というイメージと金持風舶来高級品嗜好者を、だぶらせて見る人が案外多いのです。少々横道にそれますが、もし、この婦人を別の視点から眺めると、彼女は国際貿易収支のバランスの為に貢献されている、とも云えますが……。

さて、より大切な事柄に戻りましょう。海外生活を送られた方々は御自分に問うて見て下さい。“私は外国人の中で幸せに暮らせたか、それとも、あまり居心地が良くなかったか”と。もし前者であればその方々は国際人としての適性があり、後者の方は改善すべき点があるのではないのでしょうか。最も大切な事は、“如何に過ごしたか”と云う事で、何処で、何時、何年、又は何回、海外生活を送ったかという事ではない、と思います。

国際人とは、どんな環境の中でも、その中で如何にして最も楽しく過ごせるかを見だし、その国の習慣、文化を理解する事に努め、その国の人々と真に話が出来、人々と友達になれる人です。国際人とは、自分の国の文化を紹介し、その国の人々の役に立つ事が出来る人です。国際人とは、品格のある優しい心の持主で、且つ外国語習得に特に熱心に取り組み、決して不慣れな事に挑戦する

事を恐れず、開拓精神の旺盛な人です。国際人は、勿論、国内にずっと居られる方をも指します。私達トーストミストレスクラブにも多くの国際人が居られます。その方々は私達の良きお手本となっていて下さっております。

我が国の国際化は、まだ歴史が浅いので、日本人は、外国人と真の意志伝達出来る迄には至っておりません。私達は現在、文化や商品等の物を媒介として外国とのコミュニケーションを計っている段階にありますが、近い将来には、どうしても言葉を通して直接人と人、心と心のコミュニケーションを行っていかねばなりません。

日本人は、もともと外国人に対して好意と深い関心を持っている事は将来性のある事実です。この友好的な感情と強い好奇心を持ち合わせている基盤の上に、私達が言葉の問題を克服出来た時に真の国際人になる可能性は大になると信じます。

Subject: BEING AN INTERNATIONAL PERSON

Title: NOT ONLY WITH THINGS, BUT ALSO WITH PEOPLE

Hanshin Club Keiko Akisawa

“International”, this word we see in newspapers, magazines, on bill boards, T.V., every place. International conferences and international trade fairs are held almost everyday somewhere in Japan. This country has been internationalized very quickly on the surface, but underneath, only a few people are cosmopolitan in their characters.

To most of the Japanese, the words “international person” give the image of internationally famous professionals such as ambassadors, scholars, and musicians. They give us the impression of modern appearance, sophisticated manners and fluency in other languages. International persons are our ideals, but are only V.I.P.’s “international persons”?

On the other hand, the meaning of “international person” is often misused. Let’s look at some recent advertisements . . . “Get your ABC card now and be an INTERNATIONAL PERSON” . . . or . . . “only an INTERNATIONAL PERSON knows the difference between our coffee and others”. The one that is real nonsense is “Visit ten famous cities in the world in a week . . . if you are an INTERNATIONAL PERSON, you can make it!” I really think the copywriter must have mixed up people with jet planes.

Some ladies buy clothing or accessories only for the world famous brand names . . . like dresses from Dior, Paris; shoes from Gucci, Italy; bags from Glomesh, Australia; rings and necklaces from Tiffanys, New York . . . then they proudly walk through the “Specially Selected Imported Goods” section in the department store shopping for the latest fashion for the next season. Are they international person or are they not? I hope in our audience no one will say they are. To some Japanese, however, it seems the image of the international person and a wealthy looking person are super-imposed.

If I may make an extra comment, and if we look at this kind of lady from a different point of view, she is devoting herself to helping keep the international import-export balance, isn’t she?

Let’s get back to the important point of who an International Person really is. Those who have lived in other countries and are able to ask themselves, Was I happy or unhappy living among people of another nationality. If the answer is YES, then that person qualifies as an international person. If the answer is NO, he or she does not. The most important fact is how he or she lived . . . not where, when, how long or how many times.

International persons know how to find the best way to enjoy their lives under any circumstance. They try to understand the customs and culture of other peoples and are able to communicate with

and make friends with them. International persons are willing to introduce their own culture and are able to inspire others. International persons have fine personalities, warm hearts, and a great deal of enthusiasm toward learning other languages. They never grow tired of challenging unfamiliar things. They are full of frontier spirit. The characteristics of international persons apply to all nationalities. We are very fortunate to have many international persons in our Toastmistress Clubs, and they are good models.

Because of the short history of internationalization of our country, the Japanese are not yet so skillful in communicating with other nationalities. We are still in the process of communicating with things such as exchanging cultural programs or goods. In the near future we must communicate with other people heart to heart using different languages.

The truth is that Japanese people are quite fond of people from other countries . . . so with this friendly feeling and our great curiosity . . . if we can just conquer the problem of language, each one of us has the possibility of being a true INTERNATIONAL PERSON.

論 題 ゆたかな心

題 目 かぎりある命

カウンセルNo 2 阪神クラブ 広瀬忠子

3つになったばかりの私の孫は、物は何でも電気で動くと思っているのです。ママが使う掃除機のコンセントが外れると止まることを見て知っていますし、玩具のロボットの電池が古くなると止まり、新しいのと取り替えると又動き出すことも分かるようになりました。そしてこの頃では、ピポッパッと自分で電話もかけられるようになりました。時々、可愛い電話がかかってきます。

「モチモチ、おばあちゃま、ボクを動かしている電池はどこに入っているの？」

私はとっさに困ってしまいました。「パパかママに聞いてごらんさい」「ダッテエ パパは遅いしママはおばあちゃまに聞きなさいって言うんだモン」「そうね では坊やのお家に行った時にお話ししてあげようね」と一応は宿題にしたのですが……。サテこの坊やに、人の命や心をどう話してやればいいのでしょうか。

先日私は友達と一緒に伊勢の鳥羽へ旅行しました。その時残酷料理というのを御馳走になりました。コンロの上に活きた伊勢海老や鮑をのせて、ジリジリ焼いて頂くのですが新鮮そのもので本当に美味しかったです。しかし私は残酷と銘うって食べるのに抵抗を感じました。もし新鮮料理とかフレッシュ焼きとでも名付けてあれば、もっと気持ちよく賞味することが出来たのではないのでしょうか。

どうして残酷!! つまりむごたらしいどぎつい表現をしなければならないのでしょうか。こんな荒っぽい言葉がますます世の中をあらあらしいものに慣れさせ、エスカレートしてゆくような気がしてなりません。ところで近頃は手がかからないし萎れないということで本物ソックリの造花やドライフラワーが流行っています。それはそれなりに美しいと思います。しかし短い花の命の刻々と変

わってゆく姿に、ものあわれ、いとおしさが、なお一層美しく感じられるのではないかと思うのです。

昨年の秋、西ドイツのカッセル市の婦人会長で82才になられるピーチケアさんという老婦人が突然私を訪ねて来られました。しばらくお互いの婦人会活動について話し合ったのですが、わざわざ芦屋に立ち寄られたのは何か理由でも……とおたずねしますと、「実は60年昔、自分の新婚時代に芦屋に住んでおりました。とても優しくった主人は3年前に亡くなりましたが、そのお墓に、思い出深い芦屋の松を植えてあげたくて来たのです」ということでした。私は早速、奥池のほとりの松林へお連れ致しました。背中を丸くして、何か楽しそうに独り言をつぶやくやら、掘り起こした小さな松を5・6本大事そうに抱えてお帰りにになりました。ほんの2・3時間の出逢いでした。もう二度とお目にかかることはないと思いますが、その後どうしていらっしゃるかしらと時々思い出しておりましたところ、つい2・3日前にお手紙が参りました。「あの松が、主人の墓にしっかりと根づいてくれました。年とった私もやがて同じ所に眠るだろうが、松を見上げて若かりし日の思い出話に花が咲くことでしょう。枝には小鳥も来て唄ってくれるでしょう」としみじみ書いてありました。私は仲睦まじいお2人の命が松の精となって、ドイツの空の下で立派な枝ぶりになり、年輪を重ねて人々の心に安らぎを与えるような大木になることと信じています。

物がゆたかになるのに比べ、心の豊かさがだんだんうすれてゆくような気がしてならないのです。文明がすすみ、人の寿命も大巾にのびたとは言え、やはり限りある私共の命です。

私は孫に、「人間は 玩具のロボットの電池のようにとりかえることの出来ない 命というもので生きているのであって、生きてゆくには、何より豊かな心をもってはならないのだよ」と私の出逢いや経験を通して得たものを、ゆっくり時間をかけて話してやり、彼の成長の糧になればと思っています。

日本リージョン大会支出予算案

1982年9月30日 役員会承認

リージョン役員	100,000円
大会コーディネーター	30,000
デコレーション	35,000
ホスピタリティー	70,000
備品・小道具	60,000
ホステス	60,000
食事登録	55,000
プログラム	155,000
プログラム・教育	17,000
スピーチコンテスト	80,000
広報	3,000
ゲスト接待	165,000
御礼	40,000
	870,000円

第2回リージョン年次大会の予定

1984年5月31日(木) 6月1日(金)

6月2日(土) 神戸市

担当 カウンスル№2

コーディネーター 三宮晶子(阪神)

カ ウ ン ス ル だ よ り

カウンスルNo 1

会長 鈴木 宏 子

4月25日(月)第3回例会及びスピーチコンテストを行った。審査員として阪神クラブの伊庭文子さん、大阪クラブの木下あつ子さん会員外の石原頼子さんをお願いした。ゲストは熱田神宮の岡本健治権宮司、市民局婦人問題担当室小倉良之氏、アメリカシエラネバダリジョンのソラノクラブからキエ子・ウイタカーさん、日本リジョンからは新木会長公式訪問、会員出席者数75名と盛会であった。英語の部第1位に錦クラブの水野汎子さん。日本語の部第1位に名古屋クラブの伊藤匡子さんが入賞された。

増設の方は会費問題でごたごたしましたが、特別に14ヶ月を1年分として今期中に筑波クラブ、青山クラブのチャーター申請の書類がITC本部へ送られる予定。会計年度が2・3ヶ月先ということになると、新年度に合わせてチャーターしてほしいという意見なども出てくるので、新クラブ設立には特別の考慮が必要に思う。

カウンスルNo 2

会長 野 田 絢 子

4月16日(土)神戸外人クラブにて、出席者89名で、第3回例会が行われました。午前中は、ビジネスと次期役員選挙を行いました。リジョンより盛田純子様がお出下さいました。午後は、スピーチコンテストが行われ、阪神の広瀬様が日本語で、秋沢様が、英語の部で各々優勝されましたが、神戸、東神戸、鳥取、

甲南からお若い方々が出場して下さり、非常に活発な、どなたが優勝なさっても納得のゆくようなスピーチコンテストでした。

増設の進行状況

奈良のクラブは、現在22名の申込み者がすでにきまっております、4月27日に第4回目のオリエンテーションを行いました。暫定役員もきまりました。広島クラブは、4月20日に第2回オリエンテーションを行いました。プログラムは、模擬例会で、審議の場でクラブの名称と、例会日時をきめる予定です。

カウンスルNo 3

会長 常 田 道 子

カウンスルNo 3 第3回例会は、午前中スピーチコンテスト、午後は、ビジネス・アンケート結果に答える・オークションと盛り沢山のプログラムでした。前回のアンケート中問題と思われるものを選び、疑問を解く為に企画致しましたもので、特に新しいクラブからは正しい知識を得られたとの評価を受けました。オークションも手作り品に限りませんでしたので、会員の心のこもった素晴らしい品々が出品され、予想以上の成果を挙げました。

新クラブ増設ニュース

西宮方面に設立準備中のクラブは

名称 西宮クラブ（申請予定）

場所 阪急西宮北口 池田銀行 2F

日時 毎月第1水曜日 12時半よりの予定

チャーターメンバーの喜びを1人でも多くと

思います。相当数余裕がありますので、御紹介
御待ち致します。

連絡先 江藤万里子 (0797) 31-3353

次 期 選 出 役 員

	カウンスルNo.1 (名古屋, 葵, 錦, 東京, 栄)	カウンスルNo.2 (阪神, 神戸, 東神戸) (九州, 鳥取, 甲南)	カウンスルNo.3 (関西, 大阪, 芦屋, 京) (都, 平安, 都, 北大阪)
会 長	神作 保子(東京)	パーク・良子(神戸)	木下あつ子(大阪)
第一副会長	森田千代美(名古屋)	古市 愛子(阪神)	上島 晴美(関西)
第二副会長	近藤みほ子(葵)	柳川 公子(甲南)	白江圭頼子(芦屋)
書 記	片桐 寛子(錦)	サリタ・ マーチャングニ(神戸)	津村 真澄(大阪)
会 計	須知 繁子(名古屋)	石川 政江(鳥取)	渋谷 昌子(平安)

奈良クラブ チャーターセレモニー御案内

7月13日(水) 11:00 a.m.~
3:00 p.m.

奈良ホテル 奈良市高畑町1096

☎ (0742) 26-3300

この1年 責任への挑戦

リージョン第1年目を終えるにあたり、各クラブ会長に、クラブ、リージョン、その他について卒直など意見をお寄せいただきました。

ご寄稿は4月中旬にお願いいたしました。

(ABC順)

葵クラブ



星野佐登

葵クラブも今年は7期目に入り、メンバーの方達に、今まで学んだ知識を基にカウンスルへ、リージョンへと進出して頂き度く、今期のテーマを「チャレンジ」といたしました。今年はリージョン大会のホステスカウンスルの一員として、お手伝いをして居りますうちに、今まではるか彼方であったリージョンが、段々身近に感じられるようになりました。

葵クラブでは、今年、教育にリージョン会則を取り上げ、毎回、10分ずつ会則の読み合わせを行って居ります。リージョン大会は、リージョンを理解するのに一番よい機会ですから、皆が余り負担にならず、楽しんで出席出来る会合を期待して居ります。私がトーストに入った目的は、老化防止の頭の体操と、よい友人を沢山得たい、の2つでしたが、会長をやらせて頂いて、その目的は十分に達せられました。会長をして得た最大のもの「成せば成る」という自信です。魅力あるプログラムと楽しい例会を目標に頑張っています。

芦屋クラブ



市川道子

“積みあげよう、みんなで、このテーマを選んだ理由は、クラブが一部の人の活動にたよるのではなく、出来るだけ全員が活動を分担し積極的に自己啓発をしたいと思ったからです。

その為には、充実感の持てる例会、より深いコミュニケーションを持てるクラブ、そういう雰囲気作りが私の会長としての責任への挑戦でした。今ふり返ってみて、私なりにこの責任を少しは果たせたのではないかと、そしてそれはボードはじめクラブ全員の協力のお陰であり、会長は多くの歯車を回す芯棒であったと感じました。

“会長の仕事は一家の主婦の仕事と同じである、自分のクラブの運営、これは自分の家族の健康管理や楽しい家庭づくり。他クラブとの交流、これは近所付き合い、そしてカウンスル、リージョンとの付き合い、これは親類付き合い。我が家の切り盛りをしながら地域社会と交流する、主婦以外の何者でもない私は、会長職をこう解釈して責任へ挑戦しました。

東神戸クラブ



山内 敬子

リージョン設立、カウンスル分割により、トーストミストレスの活動がより身近になりその意味と重要さ、又その一員としての責任を併せて自覚し、先輩方のタレントと御努力の偉大さに感銘を受けて居ります。と同時に小さなクラブが急に大きく拡大されたように感じられ戸惑う点多々感じられます。各々の立場を持たれながら永年にわたって活動を続けられている方々のスピーチなどをお伺いする度に、その方々を取り囲むまわりの理解、クラブ内での互いの信頼と協力が印象づけられます。その意味で年月の浅いクラブでは様々な御手助けを願いつつもまずクラブ自身の確立を急がねばならないと深く感じて居ります。突然の事情から急拠大任を仰せつかり、経験も浅く、不勉強の会長はクラブはじめ、カウンスル、リージョンの皆様にも多大な御忍耐、御寛容、御協力を押し付けて参りましたことを反省しながら、今後も勉強させていただき、輪を拡げたいと存じて居ります。

阪神クラブ



横山 幸子

私は今年度会長の勉強をさせて頂き何とか4月まで過ごせましたのは、ベテランのボードの方々に支えられていたからだに感謝致しております。又ボード以外の方々も私が助けを求めれば必ずあたたかく答えて下さいました。

その協力が私のこの1年間学び得た最大のものです。そして私の任期中のハイライトは毎月のプログラムのおもしろさにあると思います。

今年のプログラム委員会は本年度のクラブのテーマが「ポーズアンドリフレッシュ」であるところから新しいプログラムの開拓に力を入れて下さいました。色々ある内で特に5月は「スカウティング」というプログラムで、各メンバーが2～5月の間に他のクラブを訪問し、そのクラブで学んだものを阪神クラブへ持ち帰り、5月例会で話し合いをします。18年の歴史をもつすばらしい阪神クラブですが他のクラブの良い所を学ばせて頂ければ又一步成長していくことでしょう。

平安クラブ



林 達栄

平安クラブ第3期会長のお話がありました時、母親が忙しくて家をあけるのは小さい子供の為にはよくないのではないかと随分悩みました。主人に相談しましたら子供の事も心配だし、私のような若輩者が果たして務める事が出来るのかと反対しておりましたが、1週間程経ちまして「やって見るのもいいだろう」と一言いってくれたのです。私も母親が何かに一生懸命になっている姿を子供に見せるのも教育のひとつではないかと思ってお引き受け致しました。何しろ何もわからない私が会長になったのですから、それはもう至らない事ばかりでメンバーの皆様には大変ご迷惑をおかけ致しております。けれども私は、今期のテーマである「心のハーモニー」を沢山聞く事が出来ました。そして身近に心のふれあいを感じる事が出来又とない経験をさせていただきました。この素晴らしい機会を与えて下さいましたメンバーの皆様にご感謝しつつ、残る任期を精一杯全う致したいと思っております。

関西クラブ



八木 美恵子

日本リージョンが発足してから、早や1年が
巡って来ようとして居ります。その間、資料を
始め様々な面でクラブが御世話になりましたこ
とを感謝して居ります。リージョンからは多く
の通達を受けましたが、卒直に言ってリージョ
ンとクラブのコミュニケーションは、今ひとつ
スムーズに行かなかったような気が致します。
それはクラブの意見をリージョンに伝える公の
場が無かったからではないでしょうか？ リー
ジョンデリゲートがリージョン大会の為だけで
はなく、もっと早期に選出され、1年を通じて
リージョンとクラブの連絡の役をすれば如何で
しょう？ 各カウンスル例会には必ずリージョ
ン役員が出席なさいますから、その場を借りて
リージョンデリゲートに質疑応答の場が与えら
れれば、クラブとリージョンの距離は狭まり、
密度の濃いお付き合いが出来るように思います。

北大阪クラブ



米田 隼子

無から有を産みだす感じでクラブ作りを始め
てから7ヶ月、良きメンバーに恵まれて、北大
阪クラブも、なんとかそれらしい形を整えてき
ました。最近私にもようやくトーストの全体像
が見えてきたような気がします。

オリンピックと同じで、トーストも参加する
ことに意義があるのはもちろんですが、それ以
上にメンバーひとりひとりが主催者となって会
を作りあげるという、共同の創造活動である点
がトーストの特色だと思えます。

優雅に流暢に、しかも的確に話すという会話
のノウハウを学ぶと共に、日常生活とはおよそ
縁遠い例会のビジネスなどに会長としてかかわ
っているうちに「無用の用」とでもいいしましょ
うか、精神の遊びの世界の大切さを実感するよう
になり、それが今の私をトーストに惹きつけて
いる最大の理由になっています。いろいろな苦
労もありましたが、これがひと足さきに会長を
させて頂いた役得だと思っています。

神戸クラブ



内海 優

昨年のリージョン設立大会（ユーウィン会長
との出会い）、カウンスル例会等を通して、ト
ーストミストレスクラブをより身近に感じ多く
を学ばせていただいていることを嬉しく思っ
ております。“Seeing is believing”「百聞は一見に如
かず」より多くのメンバーが出席の機会を得ら
れるように願っています。

簡単な報告を聞いただけではだめです。ワー
クショップの内容などは、よりくわしい報告（
テープとか書面等）が、クラブ宛にあればと思
います。本年度、会長をさせていただきお互い
に分かり合うことの大切さと難しさを痛感致し
ております。 “We can learn only by doing.”

「なすことよってのみ学ぶことができる」
まさに、その通り。自分が何かをしてみても
相手の立場や苦勞などがわかるものですね。何
か仕事をいただいた時は、感謝して受け、ト
ーストのモットー “Don't say No.” でチャレ
ンジしたいものです。 今後ともどうぞよろし
くお願い申し上げます。

甲南クラブ



武内浩子

昨年の6月に多くの方々のお力添えのもとに誕生致しました私達クラブも早や1年を迎えようとしております。増設委員の方々の手を離れて私達の手だけで持ちました9月の例会ではどんなにか緊張致しました事でしょう。以来、毎月の例会が近づくにつれて気が重くなっておりましたが、会員の皆様が各々の委員会ですっかりと準備して頂く事もすっかり軌道に乗り始めましたこの頃では、会長の仕事とは一体何なのかしらと考えるゆとりも出て参りました。一番大切な事はやはり全員で毎月の例会を作り上げて頂くように配慮する事でしょう。私達のクラブは非常に年令層の厚いクラブで20代から50代まで満遍なくおります。年長者の考えを、又若い方の考えを知る絶好の場です。そして私達クラブの今年度最大のハイライトは、なんといっても3人のベビー誕生です。未来のトーストミストレスの為に、このクラブが永遠に存続致しますようがんばって参ります。

京都クラブ



小山孝子

定まらぬ春の、しかしこの日だけは昨日の雨がうそのように晴天に恵まれ、私達京都クラブ誕生以来初めての親睦会がバスの発車と共にスタートしました。行き先は常照皇寺、北山杉の故郷中川、さくらの仁和寺、これがその日のコースでした。例会は何時も時間一杯緊張して参加し、後は再会を約して帰途につくのが常で一度ゆっくり懇親を計り今後のトーストの活動に役

立てたい。それが実現し本当に楽しい一日となりました。4年目の京都クラブは思いやりの気持を基礎として何がより効果的かを考え、失敗を成功の核として大らかに事に取り組む姿勢を持って一步一步進んで来ました。リージョンからの資料は私達になくはならぬものでした。会報は待ち遠しくどんなに糧になった事でしょう。恵まれた状態で残り少ない今期を頑張ってやり遂げたいと思っております。

九州クラブ



長沼美智子

昨年リージョンが設立され、この5月には最初の日本リージョン大会が開催される事になり、九州クラブ会員一同心よりお喜び申し上げます。ただでさえ他のクラブより遠く離れていますのが、リージョンは益々遠い所のような気がします。しかしリージョン会報を通じてのコミュニケーションは遠隔地のクラブにとりましては、プログラム作りの資料もありますし、他のクラブの活動もわかる大切なかけ橋だと思います。

会を存続させるかどうかまで考えました折、大変熱心な方々が多数入会されました事は、会長にとっては、この上もない幸せと思っております。この度の大会には是非出席して、新しい空気にふれ、もっとトーストミストレスの事を学びたいという気持ちで多数大会に参加する事になりました。その成果は今後のクラブ例会できっと生かされるものと信じています。リージョンからも、いつかお出かけ頂ければ、会員の励ましにもなると思います。

都クラブ



岡村 美代子

白亜紀の地球を支配していた恐竜が、突然絶滅してしまった理由につきましては、いろいろな学説があるようですが、いずれにしても、環境の変化について行けなかったからであろうと言われております。

私達のクラブ活動の目的は、リーダーシップを発揮する技術を身につけるための訓練ですが、状況に即応出来なければ、生きてこないこととなります。この対応能力は、いろいろなケースについての豊富な体験の蓄積が有って初めて得られるものでございます。

都クラブは、チャーター2年目で、ようやく一通りの行事を経験したところですが、以上のような考えから、本年度後半の活動の重点ポイントとして、行事のお役は積極的にお引き受け頂き、また、他クラブの例会にもできるだけ参加願って、地道ですが確かな体験の積み重ねを心がけて頂くことにしています。

名古屋クラブ



隈部 篤子

リージョン発足後1年、クラブのメンバーであるリージョン役員の方々からお話を伺ったり、リージョン会報を読んだりして、リージョンもだんだん身近に感じられるようになりました。又翻訳委員、資料委員の方々の御活躍で、私達クラブメンバーも、大変恩恵に浴しております。今期はリージョンから各レベルの役員名簿を、会長宛に送って下さり、重宝させて頂きました。今後も同様に、できればなるべく早い時期に頂

けるよう、決めておいて頂くと、重複等も避けられ有難いと思います。リージョン大会も間近となり、役員や、コーディネーターの方々の御苦労を見ておりますと、本当に大変なことだと感じます。昨年は、設立記念で別でしょうが、今後は、年1回の楽しいお祭的な面もあってよいと思いますが、ビジネスに属することは、地味に、事務的に徹して、 unnecessary 装飾は省く、毎年必要な物は1年限りで捨てずに引き継ぐ等の、考え方も必要ではないかと思ひます。

錦クラブ



田口 邦子

リージョンが設立されて間もない事と、錦クラブが若くてまだやっとカウンスルの事が分かりかけてきたというのが実態で、リージョンへの理解と関心はまだまだといった所です。

昨年の京都での設立大会の時は、大してお手伝いらしい事もしないで、錦クラブ出席者14名はいわばお客様で見せて頂いた立場でした。今年ホステスカウンスルという事で、錦クラブは会場装飾担当として、全員いやおうなくお手伝いさせて頂いて、参加していくうちに肌で感じて大会への理解を深めていく事になると思ひます。このように立場の違う2年間を経て、疑問やアイデアも出てくると思ひます。ひとりでも多くの方が参加して、しっかり教育を受け、又他カウンスルの方との融合や親睦を図り、大会の主目的を果たしたいものです。

今年度身近に体験して、リージョンへの認識を高め、クラブの活動にその効果が反映される事を心より願っています。

大阪クラブ



木下 あつ子

カウンスルが3つに分れた昨年、私はカウンスルNo.3江藤会長のもとで第1副会長を経験し、また日本リージョン設立に当たり大会のホステスカウンスルの貴重な経験ももつことが出来ました。これらのことは本年度私にクラブ会長としての自覚を鮮明にさせ、役員会・例会で、クラブの在り方についての討議に少なからず役立っていると思います。そして今年にはクラブ運営をスムーズにするには、すべての役員からの助力、役員相互の協力が何よりも大切であることも知りました。例会で会員の輝いた瞳に出合った時、カウンスル例会のホステスとしてクラブ挙げての仕事ぶりに接した時、これこそ会長冥利というのでしょうか、それぞれに準備を下さる委員会、当番の方々のご苦勞に心から感謝せずにはられません。役職をお引き受けすることによって（家族の理解、時間的調整を必要としますが）トーストの訓練をより効果的に受けられるということを改めて感じる今日此頃です。

栄クラブ



長司 英子

「和やかな前進」をテーマに発会以来、喜びに胸をはずませ、又困惑してたたずむ時、様々な人間模様の中で、女性心理の如何に複雑であり、視野が狭く、決断力に乏しいことかと痛感した。会員のトーストに対するアンケート調査を行った際、不満事項に加えて建設的意見の多さに意外性を感じると共に、赤面恐縮反省の一

語に尽きる思いであった。会長は常に笑顔を以って献身的に奉仕し、会員各々の才能を信じ生かし得るだけの自信と実力が必要ではないかと思う。それには、他人に裏切られても裏切ることなく信じて、周囲の人のお力添えがあればこそ自分の立場のあることを認識し、会員や家庭の理解と協力で感謝の心と謙虚な態度で臨めば、凡て和やかに、明るい未来が生まれるもの信じている。様々な行事を通して諸先輩の御努力に尽大なる敬意を表し、会員の温かな支持によって、人生の力強い生き方を学び得たことを深く感謝し、今後の努力の糧にしたいと思う。

東京クラブ



松下 えん

先日私共のクラブ例会で、リージョン大会の協力費のことと、派遣員のことで大ディスカッションがありました。まずなぜそのような莫大な費用と、大会準備委員の方々の貴重な時間を浪して毎年この大会をやらねばならないのかという初歩的な疑問があり、もしこの疑問が多少とも他のクラブメンバーの方々の内にもあるとすれば、原因はリージョンの役割のキャンペーン不足にあると思います。

まだリージョン設立の初期にあるのですから、カウンスルのコーラーのように、リージョンの役員の方々は一度各クラブをお廻りになり、リージョンの全て、を説明していただきたく、そうすればリージョンや大会がもう少し身近に感じられるのではないかと思います。

次の問題はトーストミストレスの会員であることによってかかる費用のことです。例えば、東京から今回の大会へ1名参加することになりますと4～5万円が登録費その他にかかります。

一介の主婦がクラブ会費やカウンスル出席の費用以外に、それだけの費用を捻出できるかということ。

組織の一員であるという責任感と日本の実状にあわないように思われるルールとの間で東京クラブのメンバーの心は揺れ動いております。

鳥取クラブ



岩永明子

クラブ会長となって、当初は不安もありましたが、各メンバーが才能を発揮して協力して下さるので、すべて滞りなく運営されています。このなかで、さまざまな意見にどのように対応

し、いかに調整するかを学びました。

年間のハイライトはやはりスピーチコンテストです。晴れやかさの一方、色々の準備や手続きに忙殺されますが、これを機に会員の相互理解と協調を一層深めることが出来ました。貴重な成果であったと思います。

今後のクラブ活動では、日常身近な話題でユーモアのあるディスカッションなど、試みたい事のひとつです。

リージョン会報は翻訳文が掲載されるので読みやすく親しめます。クラブとリージョンの関係、コミュニケーションなど、絶えず努力して相互に培ってゆかねば……と思います。5月のリージョン大会に熱い期待を寄せるとともに、ご成功を心から祈っています。

ITCマガジン 1979年7・8月号より

デビジョンⅦのブルテン「パシフィック・クリエー」は1978年3月号で「トーストミストレスを数語で説明すれば——」というコンテストを行いました。入賞者とその解答を紹介すると……

○ リン・キャバヒル オーストラリアリージョン副会長 プログラム・教育

「このクラブは私達の脳細胞全部をいつも活動している状態にしてくれます。身体の健康のために運動をするように、心の健康のためにも同じことがいえます。トーストミストレスは、計画し、準備し、管理します。私達は話し、心を

くばり、意志の疎通をはかり、聴き、学び、書くことをします。世界と交わることで自分のまわりの世界に目をむけます。これがトーストミストレスで、またこれ以上なのです」

○ 長沼美智子 日本カウンスル九州クラブ会長
「トーストミストレスは個人の可能性を伸ばします。トーストミストレスのプログラムに参加すれば、より良いコミュニケーションの仕方、効率的なオーガニゼーションと良いリーダーになる方法とが全て身につくのです。トーストミストレスにお入りになって、御自分でやってみるのはいかがですか？」

I T C マ ガ ジ ン よ り

トーストミストレスクラブ翻訳事情

Translation in Our World Scene

I T C マガジン 1980年 7・8月号より

I T C 第 1 副会長 翻訳運営委員長

ノーマ・W・ユウウィン, B. E. M.

近年世界各国のトーストミストレスクラブのうち、非英語圏地域では I T C のマニュアルをはじめ各種資料等の翻訳が急務となってまいりました。そこで 1978 年 I T C 役員会では、国際レベルで I T C 翻訳委員会を正式に認可することにしました。

トーストミストレスクラブの翻訳のパイオニアは日本です。カウンスル No 1 が 1970 年 はじめに出来て以来、数々のマニュアルや会則、教育資料等を翻訳してきました。また日本の編集委員は他の地域と異なり、マガジンの記事をなるべく多くのメンバーに提供するために、翻訳という骨の折れる仕事にずっと携わっています。

日本の次は南アフリカリージョンで、翻訳委員会ができ教育マニュアルをアフリカ人に訳す許可をとりました。3番目がアイスランドで、教育マニュアルや資料を翻訳し、すばらしい会報も出しています。次はデビジョン III に所属するリオグランデリージョンです。ここでも I T C の許可を得て重要な資料を次々とスペイン語に翻訳しています。

私が強調したいのは、いずれの地域に於いても、この仕事は「自力」でなされていることであり、私共は運営のお手伝いをしているだけだということです。このように世界の各地域で、クラブメンバーはトーストミストレスに対して強い熱意と信念を持っていて、この人達は計り知れない時間と労力をささげてこの仕事に当たっているのです。

I T C 役員会では、米国、英国、アイスランド、日本、南ア、オーストラリアのメンバーからなる作業部会をつくり、3年間この事を検討してきました。そして次のような I T C 翻訳方針というものをつくりました。この方針は今後も絶えず検討され、必要に応じて改正もされますが、これについての建設的な御意見を歓迎いたします。

なお、米国、カナダ、ニュージーランド、英国、オーストラリアのメンバーにとりましても、トーストミストレスクラブの主要目標は変化成長していくことを認識し、この方針によりトーストミストレスの夢が世界中のより多くの人々に普及していくことを理解していただきたいと思います。私共は皆これを誇りとすることができます。

I T C 翻訳方針

1. 英語を I T C の公式用語とする。しかし I T C 役員会は、I T C 出版物の翻訳権を、検討した上で与え、非英語圏地域でもトーストミストレス訓練を受けやすくするようにする。原則として

財政的援助および印刷費は補助しない。

以下詳細な規則がありますが関係項目のみを挙げますと、
次の3つの場合に翻訳許可を与える。

A. 非英語圏地域のリージョン、カウンスル、クラブより求められた場合

B. 非英語圏地域にエクステンションを計画しているリージョン、カウンスル、クラブの場合

C. エクステンションのため、I T C 翻訳運営委員会が直接翻訳を依頼する場合

手続きはいずれの場合もデビジョン副会長を通して書面でI T C 翻訳運営委員長に申請する。特別な場合は、その都度、検討のうえ補助金を出すこともある（主として教育マニュアルに対して）。この場合も出版3社の見積書を申請書に添えて提出することが必要である。

なお翻訳資料はすべてコピーをI T C 本部にストックするか、その国の資料委員会にストックされ、本部の指示に従って販売され、定期的に本部に在庫および販売報告がなされること。（以下は省略します）

日本リージョン翻訳委員長
田中あさ子 抄訳

役員会について

Gentle Josting

I T C マガジン 1983年3・4月号より

コンパウンド クラブ ロレッタ・ニー

選出役員になろうかなあと考えるのは、それに必要な小道具類をそろえてからにしましょう——リングが3つのバインダー、3つ孔のあけられるパンチ、それと食卓テーブル。食卓テーブルがないうちに選出役員になろうなど考えてはいけません。1年という任期中に役員の受け取る手紙はとても沢山の、食堂の壁の飾りつけを変えてしまうほどです。手紙は、差出人別、クラブ別、内容別に分けて、食卓のテーブルの上にきちんと積み重ねられていきます。お客様はこの手紙の山を見てとり散らかっていると思うかもしれませんが。が役員たる者は、ああこの方はおわかりにならないんだわと寛大にならなければいけません。こういう、乱雑さの中の秩序の価値を理解出来るのは、役員だけなのです。役員はスーパー能力をためそうと、この手紙の山を整理したりしてはいけません。

また食卓の上を片づけるため手紙の山を一束にまとめてしまってもいけません。元の手紙の山にもどせる人は1人としていないでしょう。いつも便箋の1枚だけ空中に霧消してしまい、長時間捜してもみつからず、ファイルがひっくり返った時、その時はじめて、くだんの1枚がうれしげに出てくるのです。

食卓のテーブルが書類でおおわれていると良いこともあります。まず塵がたまりません。塵は書類の上にもたまりません。それほど書類は絶えずひっくり返して調べられるからです。友人を晚餐に招かない正当な理由にもなります。友人から「この頃はとんと招いてくださらないのね」といわれたら、役員は眼を大きく見開いて、次のように言さえすればよいのです。「そりゃ無理よ、我が家の食卓テーブルを御覧になった？あの書類を全部片づけるのは無理でしょう？おまけにあのタイプライターは重過ぎて、誰も動かせないのよ。来年もし私がトーストミスストレスのお役を何もしなかったら、きっと夕食にお招きするわ」

新しい日が始まります。この日は、役員がこれらの書類を片づけようと決めた日です。家族は出払い、彼女自身もいささかりラックスしていて、道具だてはすべて整いました。

しかし、少々細かい点を見落していました。あの漆かぶれはもう治りきったと思っていたのに痒くなり始め、整理熱がアドレナリンの流れを喚起して急にむず痒くなりました。2度ほどテーブルを離れて痒み止めをぬりました。それから犬です。隣の家の犬と彼女の犬、のことです。お隣りの一家は犬の世話を友達にたのんで旅行に出かけ、役員が仕事を始めるとこの友達が預かった犬を庭に放し食事と水を置いて帰りました。珍しく庭を自由に走れるので犬は大声で吠え続けました。彼女の犬もそれに応えて吠えはじめ、吠えるだけでなく台所から居間へまた台所へと馳けまわりました。その上とても興奮して床から椅子へとび上がり、また床へとび降り、はねまわりました。でも役員はわき目もふらず仕事を続けついにモーレッツ人間の表情でタイプにむかい、たまった手紙に返事を書きはじめました。

この時電話が鳴りました。あつかましく、しつこく鳴り続けます。間違い電話でありますようにと折りつつ電話をとり丁寧にもしもしと答えました。トーストミスストレスからの電話でした。(神様は祈りを聞き入れてくれなかったのです)このトーストミスストレスはかっかとしていました(人づきあいが上手になる能力開発のとても良いチャンスです！)「いえ、そういう意味じゃないと思うわ。あなたの事を悪く言ったのじゃないと思うわ。ハンドブックを見て調べてごらん下さい？」でもこの種の電話は短時間では済みません。たっぷり30分は費やしました。やりかけた仕事にもう一度没頭しようとしたら、また電話です。彼女と彼女の良心との葛藤が始まります。彼女は仕事を片づけたいし、良心は電話をとれといいます。トーストミスストレスの皆様にはおわかりのように、良心の方が勝って電話をとりました。今度もトーストミスストレスからでした。トーストミスストレスは四六時中活気にあふれているみたいです。だから役員は全員役職名を変えるべきでしょう。

例えば	会長	重要事項担当の主任医師
	副会長	プログラム役割り担当の忍耐強い医師
	書記	聴き役まとめ役担当医師
	会計	他人のお金を担当する医師

役員会を細かく見るとトーストミスストレスに見られる様々なタイプの人間がわかります。この人達はリーダーとしてすでに出来上がった人達か、またはリーダーとしての可能性を十分に持った人達です。こういうリーダーが食卓テーブルに4・5人集まると、電気が発生しそのエネルギーは大都市に24時間供給するのに充分な程あります。その時きつとこういう会話が交わされることでしょう。

会長様が申されます「皆様全員にアジェンダを送り、それをよく検討し意見を持ってくるようお願いしておきました。どうぞ御意見をおきかせください」

妊娠していることを黙っている時のような意味深長な沈黙！会長はあたかも三つ子を生むような気になります。役員の人1人が言います。「アジェンダなんてもらってないわ。意見を持ってこい、なんてどういうこと？」

辛棒強く会長は皆と一緒にアジェンダを検討するように言います。他の1人が口を開きます「プログラム教育についてとても良い考えがあるの、ITCお勧めの題目は一寸やめちゃって何か今、現在世界で起っている事に関係したものについてワークショップをするのはどうかしら？スピーチコンテストの準備についてとか議事法についてなんかもう聞きあきたわ。政治や市民権とか人間の性について話さない？」

別の人が答えます「これまでそんなこと一度もしてないんじゃない？もしまだしてないのなら、今すべきじゃないわ、それにうまくいかないと思うし、そういう題目は会則で扱われてないでしょう！」

調停役が言います「でもそういう話題について考えてみて、次の例会で検討してもいいんじゃないの」

別の人が発言します「私、もらったアジェンダについて2時間半もかかって意見を書いたのだけど家に忘れてきちゃった」書類をがさつかせながら「でも同じ日に私は国会議員さん宛に手紙を書いたのよ。そのコピーはここにあるの。誰か読まない？」

会長は尋ねます「どなたもアジェンダについて御意見はありませんか？」

別の声がします「これを見ると私がクロージングソウトを言うことになっているけれど私はあと10分で帰らなくちゃいけないの。今クロージングソウトを言ってもいいかしら？」

諦め顔の会長はうなずき、クロージングソウトは述べられ、役員会は閉会しました。

「あと10分で帰らなくちゃ」のメンバーはもう1人と一緒に車で帰りました。家まで45分のドライブです。アジェンダを受け取らなかったメンバーはもう1人のメンバーと近くの喫茶店へ行き、語りあう、ことにしました。会長はとうとう彼女のアジェンダが検討されていることを知ります。古い諺を御存知ですね。「靴があうなら履けばよい」だから役員会のメンバーは靴なしさんが多いのですね。

日本リージョン翻訳委員

置塩啓子 訳



「人々が世界をより良くしようと望むところから、そしてその目的に適った手段を用いるところから、世界はより良くなるのです。」

アーネスティン ホワイト
創立者

資 料 委 員 会 よ り

会員の皆様、教育特集を御利用いただきありがとうございます。お陰様で大好評で、4月末に増刷をあわてて依頼したようなしだいでございます。このように十分に御利用いただきますと、私共一同、苦勞も疲れも吹っ飛ばしてまいります。いたらぬ点多々ございますでしょうが、今後ともよろしく願います。また今後御要望がございましたら、来期にも申し伝えて、よりよい活動をしたいと望んでおりますので御協力の程お願いいたします。下記に訂正箇所がございましたので御所持の分をお直しく下さいませ。

- ・資料一覧 会報第3号27頁掲載（コピーは各クラブへ配布済み）のうち
- 教51 スピーチの構成のワークショップ→ス

スピーチの作成のワークショップ

・本文訂正

1. 教41 クラブの良いプログラム作製の為の目標→クラブの良いプログラム作製目標
2. 教44 評価者の訓練の為の概要 1頁8行目 4.会合を首尾よく終えたクラブを他のクラブに知らせる方法を決める→会合を首尾よく終えた会員を自クラブに知らせる方法を決める

以上2箇所

資料委員長 白木保子
翻訳委員長 田中あさ子

編 集 後 記

「口頭と文書による効果的なコミュニケーション」を課題をもって出発しました日本リージョン第1年目も終ろうとしています。会員数が増え活動が活ばつになれば、それだけ問題点も多くなってきます。会報が会員のユニティーをはかる手段として役立つなら、これ以上の幸せはありません。

原稿や意見をお寄せ下さいました方々に感謝いたしますとともに、この1年各カウンスルでリージョン会報の配布などをお世話して下さいました担当の皆様にお礼申し上げます。

江 藤 万里子
置 塩 啓 子
村 上 美耶子

印 刷 所

欧文印刷専門の会社 株式会社 イシ タイプ センター

ISHI TYPE CENTER

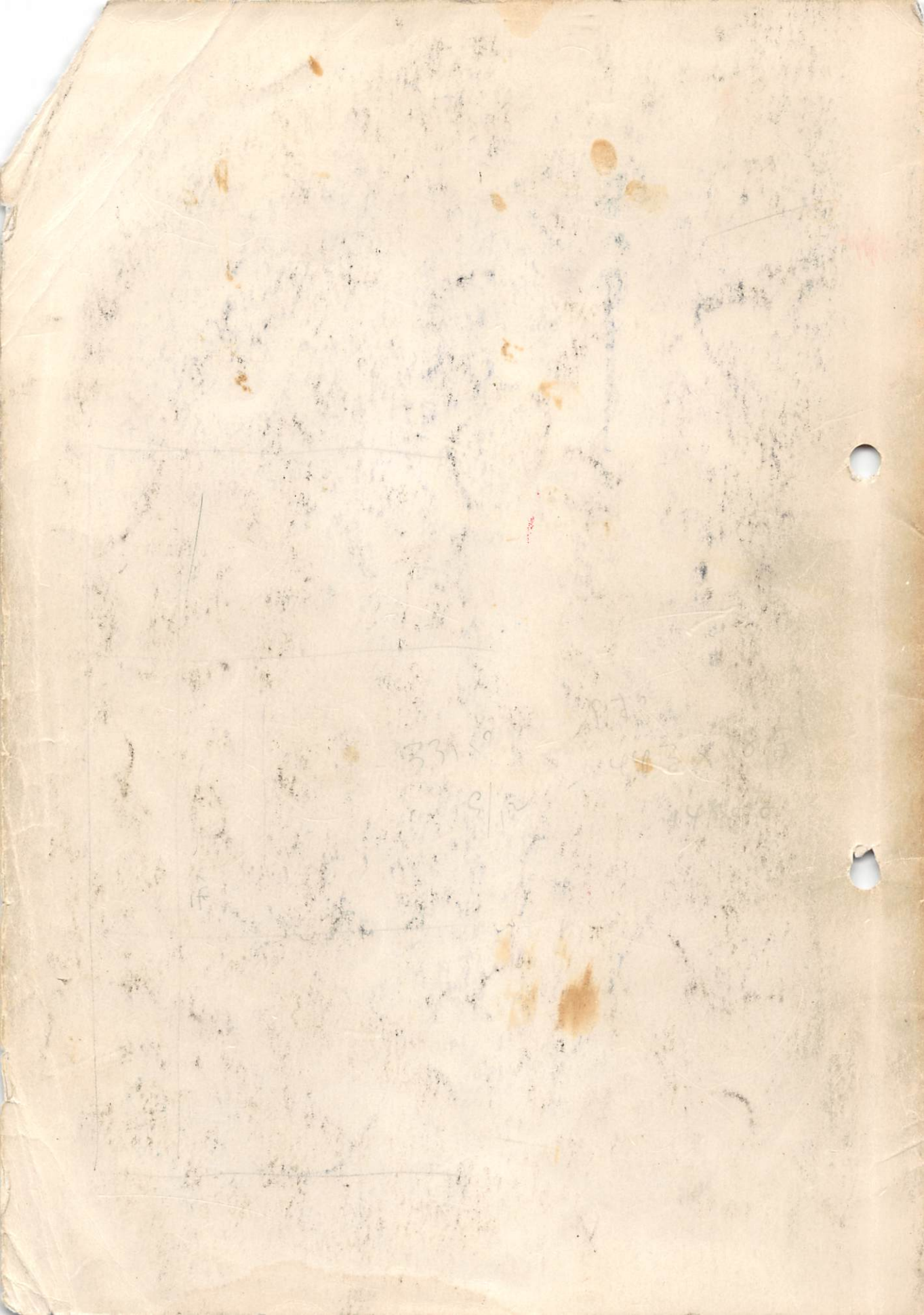
大阪市東成区大今里西1丁目21-18 〒537 ☎06(971)1988
21-18, Oh-imazato Nishi 1-chome, Higashinari-ku, Osaka, 537

日本リージョン資料一覧

1983. 5. 11.

資料委員会作成

番号	品名	単価(円)	番号	品名	単価(円)
1	クラブ会則(標準)	300	29	ITCマーク入り封筒(20枚1組)	300
2	カウンスル会則(標準)	200	30	便箋B5判1冊	400
3	カウンスルマニュアル	500	31	葉書(100枚1箱)	850
4	リージョン会則常規付	300	32	車用ステッカー(在庫5)	特価 200
5	リージョンマニュアル	600	33. 34. 35. 36. 37 是在庫切		
6	リージョン大会マニュアル	700	38	Plaque(メンバー用机上札在庫4)	特価 600
7	カウンスルプログラムマニュアル	700	教39	クラブ計画	300
8	クラブ役員マニュアル	800	教40	会合のABC	200
9	クラブ増設マニュアル	300	教41	クラブの良いプログラム作成目標	250
10	議事法マニュアル	900	教42	クラブ例会の実演一説明	300
11	ITC教育マニュアル	1,500	教43	教育委員長の為の教材	200
12	ITC Education Manual	1,500	教44	評価者の訓練の為の概要	250
13	カウンスル派遣員	100	教45	カウンスルサービスビューロー 運営と組織	200
14	ホステスクラブ便覧	200	教46	資格認証課程の手引き	100
15	Guidelines for Hostess Club	200	教47	リージョン増設委員長養成	250
16	役員就任式	200	教48	概要	100
17	“(英)	200	教49	ストーリーテリング	250
18	資格認証課程	500	教50	テーブルトピックスのヒント	250
19	Basic Principals of Preparing Speech	500	教51	スピーチ作成のワークショップ	250
教20	カウンスルコーラー機構と運営	200	教52	上手な聴き方のワークショップ	250
21	Toastmistress Hand Book	500	特1	教育特集 25. 39. 40. 41. 42. 43. 44. 45. 46各1部 合計9冊	1,600
22	Work Book (Toward First Year Goals)	500	特2	教育特集 20. 48. 49. 50. 51. 52. 各1部 合計6冊	1,000
23	スピーチコンテストの規則と任務 (1982~5)	350	53	ITCマーク入りハンドバッグ ハンガー 紺	1,300
教24	トーストミストレス用語	250	54	白	“
教25	ニュースレターとその作成	300	55	赤	“
26	チャーターレプリカ(在庫29枚)	150	56	ITCマーク入りスティックピン	1,200
27	クリアブック	1,100			
28	ITC JAPANマーク入りスプーン	700			



331

2/12

1972

443

4